

令和6年8月8日改訂

当院の手術中止症例の理由と中止による影響に関する研究

1. 研究の対象

2018年4月～2029年3月に当院で手術を予定されたが中止になった患者さん

2. 研究目的・方法

小児患者さんの手術の中止は、患者さんや医療者に加えて、保護者の皆さまにも影響を与えます。中止の理由はさまざまですが、小児の場合、感冒症状など体調不良が最多で、医学的な理由以外にも社会的な理由などがあります。

小児患者さんの手術中止に関するほとんどの報告では、対象患者さんが全年齢であるため小児の年齢区分が大まかであり、小児の中止理由について詳細な検討がおこなわれていません。そのため、今回当院で手術中止になった小児患者さんを前向きに抽出して、年間の中止患者さんの割合や中止が多い年齢、中止の理由などを調査します。その結果次第では、手術を予定されている患者さんや保護者の皆さまに中止を回避する情報を提供できる可能性があります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

手術が中止になった小児患者さんのカルテから、手術予定日や年齢、手術予定の診療科、中止の理由、手術延期期間などのデータを抽出して解析します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

宮城県立こども病院

〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合4丁目3-17 TEL: 022-391-5111

研究責任者 麻酔科 篠崎友哉